

公共施設に関する市民アンケート結果

市 民

(1) 公共施設をどれくらいの頻度で利用しますか？

- 図書館、集会施設（公民館）は全体の2割近くの人がよく利用（月1回以上）しています。ただし、利用率の高い図書館、集会施設でも半数の人は、ほとんど利用していない状況でした。（4ページ）
- 公共施設を利用したことがない理由は、どの公共施設も「利用する必要がない」が一番多くなっています。（5ページ）

(2) 公共施設について、問題だと思うことは？

- 「施設の老朽化」「その他」「施設の数が多い」の順に問題視されています。
- 「その他」には、施設の削減に関する意見、高齢者や子育て等の施設の拡充に関する意見等がありました。（6ページ）

(3) 公共施設の削減に対して、どのように取り組むべきだと考えますか？

- 「市民生活に不可欠な施設は残し、優先順位をつけて減らす」「施設のサービスはできる限り残しながら、複合化や集約化で施設を減らす」が多数を占めています。（7ページ）

(4) 公共施設を減らすために、どのような手法で取り組むべきだと考えますか？

- 手法として、「用途廃止」が一番多く、次いで「複合化」、「集約化」、「民営化・民間活用」の順に多くなっています。（8ページ）

(5) 今後の公共施設のあり方に関する自由意見（9ページ）

高 校 生

(1) 公共施設をどれくらいの頻度で利用しますか？

- 高校生が利用する公共施設は、図書館とスポーツ施設にほとんどが集中しており、全体の約25%がよく利用（月1回以上）しています。（13ページ）
- 公共施設を利用したことがない理由は、「利用する必要がない」が多く、産業系施設については「施設を知らない」が一番多くなっています。（14ページ）

(2) 公共施設について、問題だと思うことは？

- 「施設の老朽化」が一番問題視されています。
- 2番目に、「必要と思われる施設が不足している」ことが問題視されています。必要な施設としてスポーツ施設や図書館等の学習の場等の意見があり、一般市民アンケートと結果が異なっています。（15ページ）

(3) 公共施設の削減に対して、どのように取り組むべきだと考えますか？

- 「市民生活に不可欠な施設は残し、優先順位をつけて減らす」「施設のサービスはできる限り残しながら、複合化や集約化で施設を減らす」が多く、一般市民アンケートと同じ傾向です。（16ページ）

(4) 公共施設を減らすために、どのような手法で取り組むべきだと考えますか？

- 手法として、「複合化」が一番多く、次いで「用途廃止」、「集約化」、「民営化・民間活用」の順に多くなっています。（17ページ）

(5) 今後の公共施設のあり方に関する自由意見（18ページ）

公共施設に関する市民アンケート

市民の公共施設の利用状況を把握するとともに、今後の公共施設のあり方について、市民の意識・意見を把握することを目的に、アンケート調査を行いました。

<アンケートの概要>

項目	内容
調査期間	2019年12月9日(月)～12月27日(金)
調査対象	市内在住の18歳以上の市民2,000人（無作為抽出）
調査方法	郵送による調査票の配布・回収
回収率	有効回収率34.75%（有効回収数695）
調査項目	・回答者の属性 ・公共施設の利用状況 ・公共施設の今後のあり方 ・公共施設のあり方に関する自由意見
その他	構成比(%)は小数点第2位四捨五入のため合計が100%にならない場合がある。

(1) あなたの性別は？

	件数	構成比
男性	265	38.1%
女性	425	61.2%
無回答	5	0.7%
合計	695	100.0%

(2) あなたの年齢は？（記入日現在）

	件数	構成比
10歳代	3	0.4%
20歳代	25	3.6%
30歳代	74	10.7%
40歳代	89	12.8%
50歳代	114	16.4%
60歳代	169	24.3%
70歳代	168	24.2%
80歳以上	51	7.3%
無回答	2	0.3%
合計	695	100.0%

(3) あなたがお住まいの地区は？

地区	件数	構成比
西条	68	9.8%
神拝	52	7.5%
大町	72	10.4%
玉津	51	7.3%
飯岡	41	5.9%
神戸	25	3.6%
橘	8	1.2%
禎瑞	12	1.7%
氷見	35	5.0%
加茂	0	0.0%
大保木	0	0.0%
市之川	0	0.0%
周布	21	3.0%
吉井	17	2.4%
多賀	27	3.9%

旧西条市	364	52.4%
旧東予市	194	27.9%

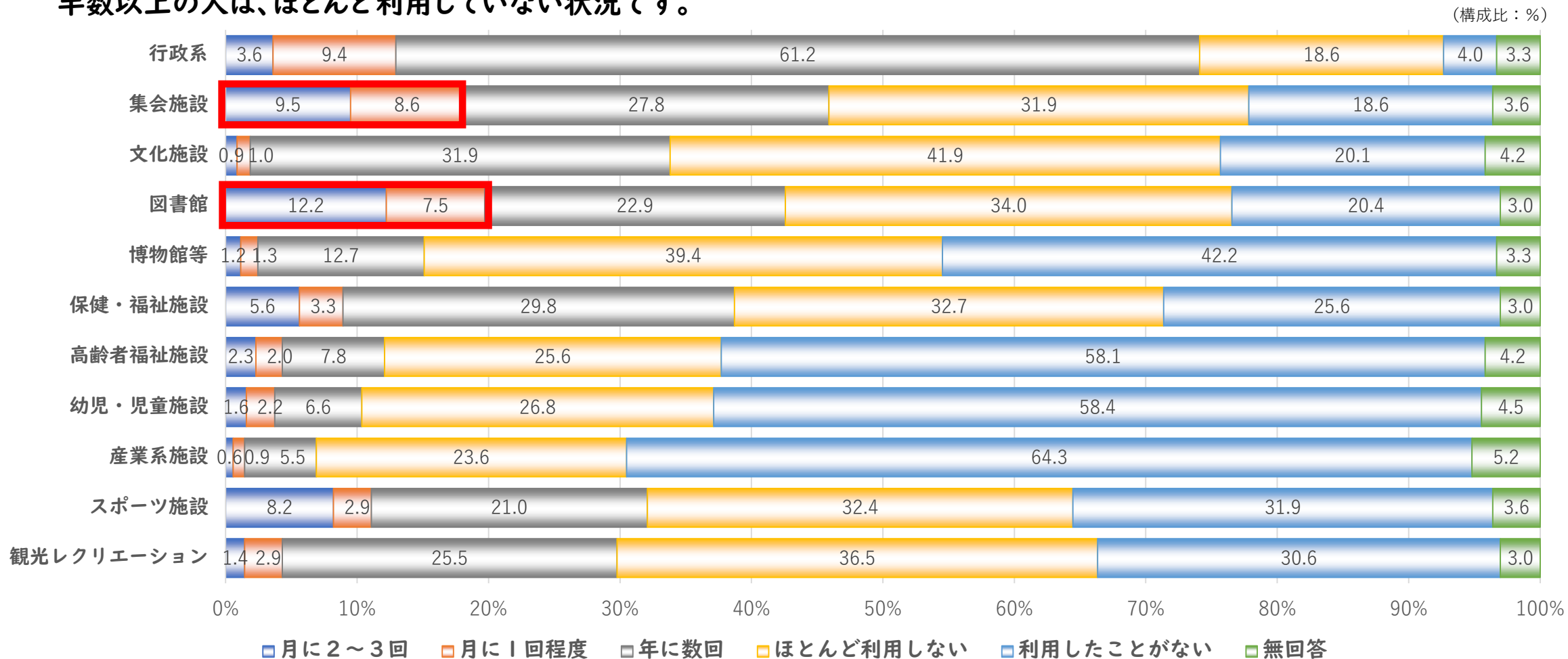
地区	件数	構成比
壬生川	39	5.6%
国安	25	3.6%
吉岡	17	2.4%
三芳	14	2.0%
楠河	20	2.9%
庄内	14	2.0%
丹原	46	6.6%
徳田	8	1.2%
田野	14	2.0%
中川	15	2.2%
桜樹	1	0.1%
小松	36	5.2%
石根	11	1.6%
無回答	6	0.9%
合計	695	100.0%

旧丹原町	84	12.1%
旧小松町	47	6.8%
無回答	6	0.8%

(4) 公共施設をどれくらいの頻度で利用しますか？

(①月に2～3回、②月に1回程度、③年に数回、④ほとんど利用しない、⑤利用したことがない、から1つ選択)

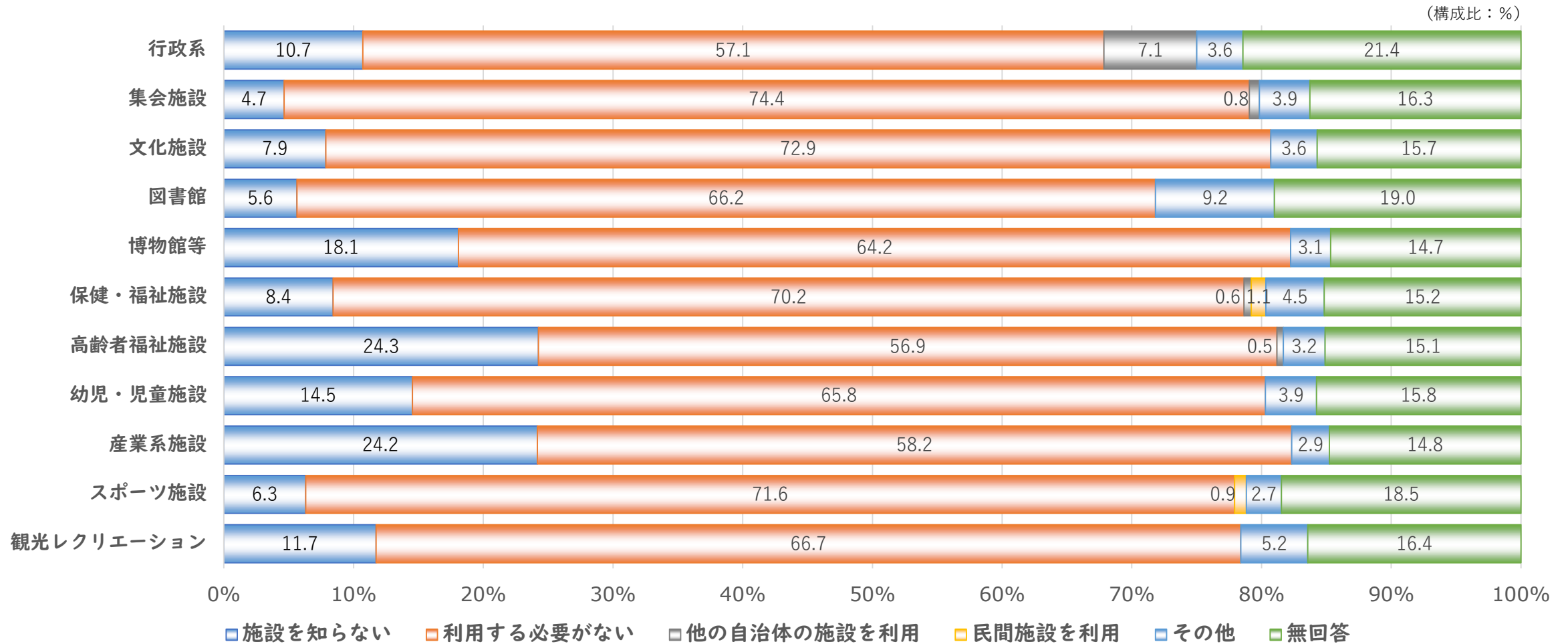
➤ 図書館、集会施設（公民館）は、全体の2割近くの人がよく利用（月1回以上）している。一方、利用率の高い両施設においても、半数以上の方は、ほとんど利用していない状況です。



(4) 先の質問で、公共施設を「利用したことがない」場合、その理由は？

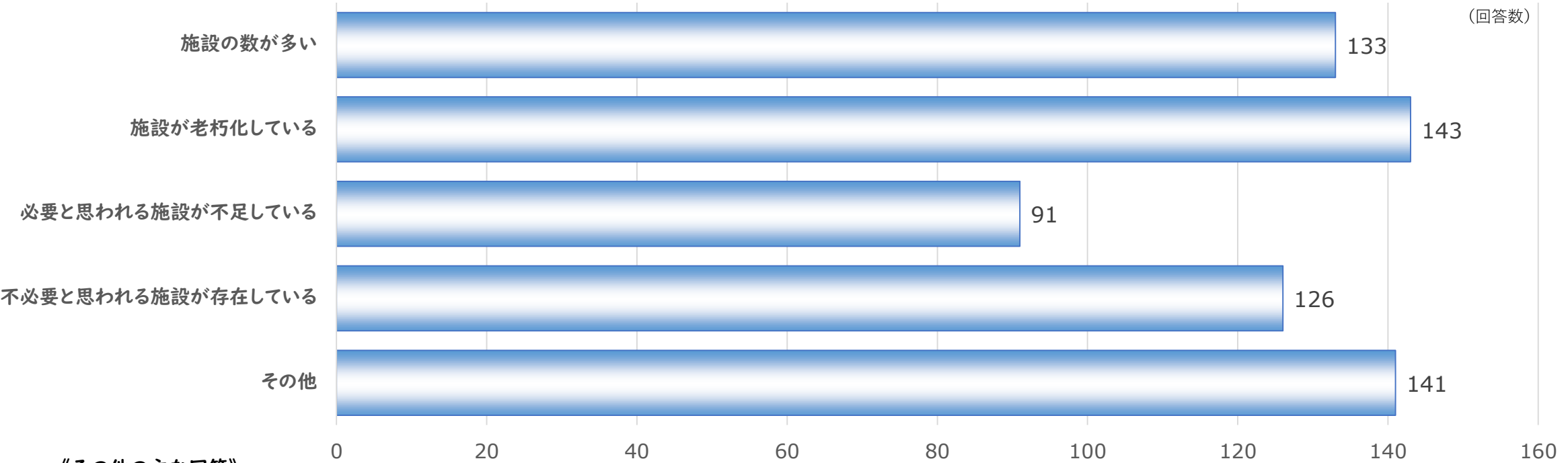
((①施設を知らない、②利用する必要がある、③他の自治体の施設を利用、④民間施設を利用、⑤無回答、から1つ選択)

➤ 公共施設を利用したことがない理由は、どの公共施設も「利用する必要がある」が一番多くなっています。



(5) 公共施設について、問題だと思うことは？
(①施設の数が多い、②施設が老朽している、③必要な施設が不足している、④不必要な施設が存在している、⑤その他、から1つ選択)

➤「施設が老朽化している」「その他」「施設の数が多い」の順に問題視されています。「その他」として、施設の削減に関する意見、高齢者や子育て等の施設の拡充に関する意見などがありました。



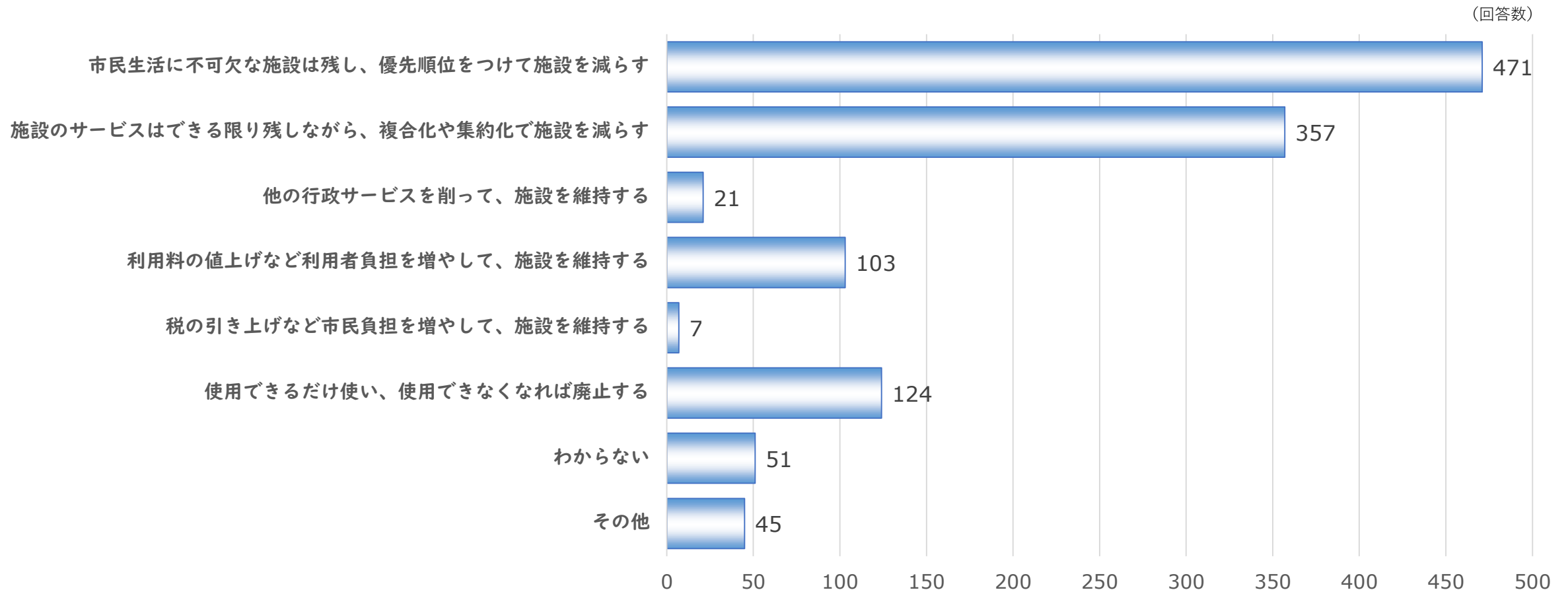
《その他の主な回答》

利用数の少ない施設は不必要です。	4市町が統合された今、重複する施設は削減していくべきです。	美術館がない。
レクリエーション施設を民にする。	合併し重複施設も多くある。減らせるところは減らすべき。	多くの人が施設の存在と用途を知らないのではないのでしょうか。
公立の小学校、中学校が多い。	施設の土地や建物が広すぎる。	周桑地区の施設が旧西条市にある施設に比べて貧弱である。
生命に関わる施設を優先的に	将来は老人が増えるため、もっと高齢者福祉施設を作るべき。	問題ない。(複数)
老朽化している施設は随時廃止する。	子育てに関する施設は多い方がいい。	わからない。(複数)
規模を小さくすることでサービスは維持する。	周桑病院継続と充実を行ってほしい。	
博物館や郷土館は統合できないか？	中高齢者が集える気楽な場所	

(6) 建替・改修費の見込み等から、今ある公共施設をすべて維持することは困難と考えられますが、どのように取り組むべきだと考えますか？

(下記の選択肢から複数回答)

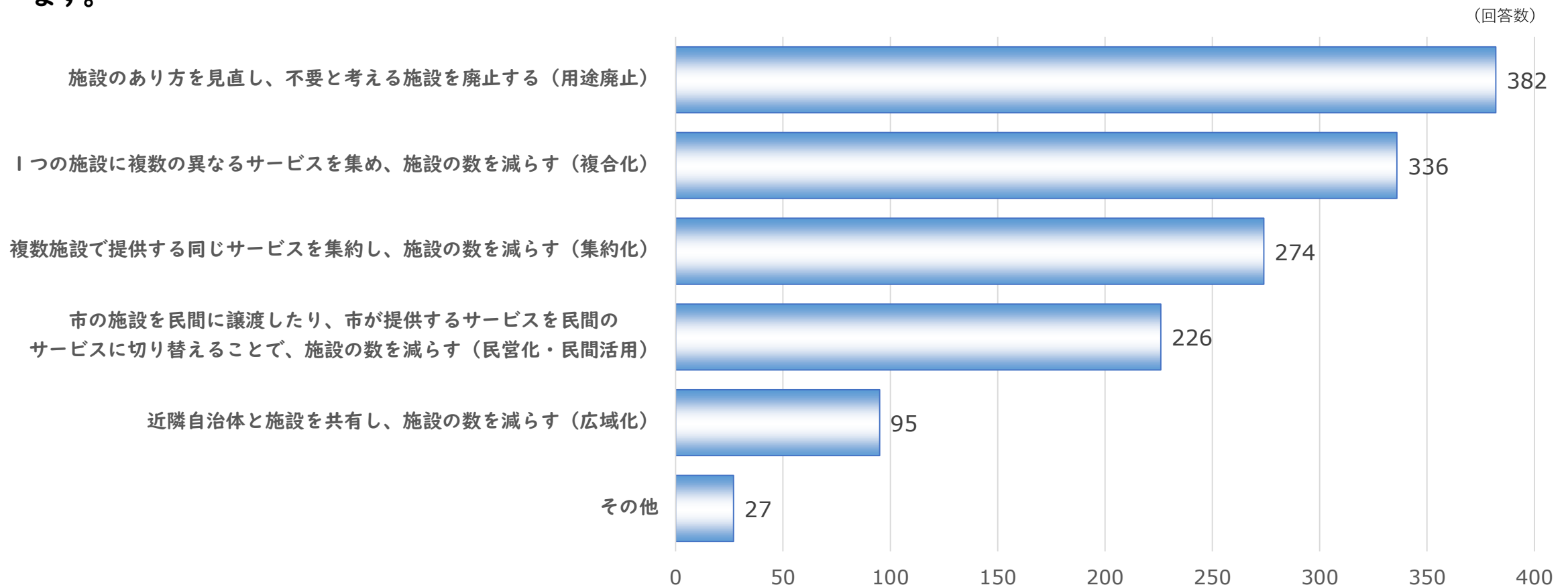
➤ 公共施設の削減に対する考えとして、「優先順位をつけて減らす」、「複合化や集約化で減らす」が多数を占めています。



(7) 公共施設を減らすために、どのような手法で取り組むべきだと考えますか。

(①用途廃止、②複合化、③集約化、④民営化・民間活用、⑤広域化、⑥その他、から選択(複数回答可))

➤ 公共施設の削減手法として、「用途廃止」が一番多く、次いで「複合化」、「集約化」、「民営化・民間活用」の順に多くなっています。



(8) 今後の公共施設のあり方について、ご意見がありましたら、ご自由にご記入ください。

<主な意見>

No.	性別	年齢	自由記述
1	男性	30歳代	公共施設の整理に合わせてサービス向上も検討してほしい。例えば、利用時間の延長やマイナンバーカードを利用したサービス向上（コンビニなどでの住民票他証明書発行など）。各施設の利用率から検討するのも一つだと思います。重複した施設で利用率（人口当たり）の低いところから廃止など。
2	女性	30歳代	博物館等は年に何度も訪れる場所ではないので、複数の施設が点在するよりは、1つの施設に集約した方が訪れやすく、また様々な物をたくさん見ることができるようになるのかな、と思います。
3	男性	40歳代	市町村合併後広域になり、複数の施設が同じ仕事をしている。それぞれの地区で無くなればその地域の人困るので、地域毎にサービスは残しながら1つの施設にまとめたり、無くなる所は民間に委託したりして規模を見直すべきだと思う。1か0かではなくなると不満があるので、最低限維持できる程度に規模縮小してはどうか。
4	女性	40歳代	今後、人口減少と税収減が続くことが予想される中、合併前の旧2市2町の帰属意識に囚われることなく、複数の類似施設（特に社会教育施設、体育施設）については統廃合を断行するべきだと思う。また、明らかにニーズや使用頻度が低下している施設（特に公園、児童公園）←ほとんど使われていない様な小さな公園、ベンチしかないような所など）は廃止するべきだと思う。跡地は売却又は大規模災害に備えた防災広場への転用を検討してはどうでしょう。
5	女性	50歳代	現時点での意見ですので、年齢を重ねてきたら自分に必要な公共施設への依存ができてくるのかもしれませんが。各年代、各職業等において自らが必要なものは残して欲しいと思うのが当然だと思います。が、(7)にある様に複合化、集約化に努め、再度検討の上（廃止）も考えて縮小していくべきだと思います。一つの建物の中でいろんなサービスや施設がある方が、利用者も一度の用途で事足りるし、世代交代も出来てくるのではないかと考えます。葬祭場についてですが、他の市と比べて”やすらぎ苑”があまりにも老朽化しています。最期の場所もう少し”きれいな場所”になりませんかでしょうか。お願い申し上げます。
6	男性	60歳代	費用対効果を検証し、数値で必要度を表し不要とする施設を選出し廃止していく。高齢化社会に対応するコンパクトなまちづくりが肝要（富士市）。客観的意見を聞くべく専門的機関への委託の検討。
7	男性	70歳代	市が合併したので多くの同じ様な施設が残っているのは当面は仕方がなかったかもしれないが、合併後相当年数が経っているが、現状でも全国規模を上回っているのは問題だと思います。住民サービスの観点から配慮しながら複合化、集約化を進めて、合併のメリットを出してもらいたいと思います。地域で自主運営できる様な施設や、そのノウハウを地域おこしとして指導して頂くと、地域の活性化にもつながるのではないかと思います。

(8) 今後の公共施設のあり方について、ご意見がありましたら、ご自由にご記入ください。

<主な意見>

No.	性別	年齢	自由記述
8	女性	30歳代	集約化は今後必要になってくると思うが、中心地に住む人と過疎地に住む人とのサービスの受け方に差がどんどん出てしまうことは目に見えていると思う。その問題をしっかり考えてほしい。同じ税金を払っても、恩恵の受け方が全然違う。コンパクトシティーではなく、全西条市民が快適に平等に市民生活を送れる市であってほしい。移住者への取り組みもどれだけ費用対効果があるのか疑問です。移住者よりも市民へ還元して下さい。
9	女性	50歳代	若い時には集約して数を減らした方がと考えると思うけれど、本当に公共施設が必要になってきた年齢になると、施設が全て街中に集約されて遠くに行けない、ということにならないでほしい。あと、災害などの時を考えると、集約して同じところばかりに施設が集まっているのはいけないかと思います。いろんな事を想定して英知を結集し、判断して下さい！
10	女性	50歳代	総合支所は、本庁まで手続き等に出向けない人達にとって必要だと思います。年齢的や体力的、行く手段など支所にすら行けない人も多数居るので、市からいろいろ手続き要請の書類等を送った時とかは本庁、支所まで自分または頼める家族が居ない、遠方に居るなどで行くのが難しい場合は、職員が出向くとかも考えてあげて欲しいです。（一部抜粋）
11	女性	60歳代	災害時の安全が確保された施設、子ども達の安全が確保された幼・保・子ども園、費用に困らず利用できる安価な老人施設等には費用をかけて新設したり、維持してもらいたい。市街地や中心部に集中せず、遠隔地にも配慮した距離間で運営されることを望みたい。
12	女性	30歳代	若い独身にも有効な施設がほしい。高齢者、子供に対するサービスはそれなりに充実しているようにも感じる。
13	男性	40歳代	公共施設の数が多い事も問題だが、どの施設がどのような役割を果たしているのかがわからないため、要、不要の判断がつかない人が多いのではないのでしょうか。どの施設がどのような役割を果たして、利用状況がどうなっているのか、どれくらい役割が重複しているものがあるかなどの判断材料を提供して欲しい。
14	女性	50歳代	公共施設の清掃、外まわり（草引き）などボランティアで補える部分は市民に協力願えるよう働きかける必要があると思います。市民も働きかけによって全面的に協力出来るのではないかと？自分たちの市を良くしたいと思っている人は多いのではないかと？
15	男性	70歳代	西条市は合併以来、旧西条地域へ集中する方向に動きすぎていると思う。市街地を守ろうとした短絡的な思惑がはたらいっているのではないかと。一極集中型の活動は非常に効率よく短期間に成果を上げているように見えるが、少し長いスパンで見ると周辺部の弱体化が進み、ついには基盤が弱くなって全体の活力が低下する。多極分散型の活動こそが必要で、それぞれの地域に古くからあるものの中から魅力を見つけ出し、日常的に活動していくとそこに交流が生まれ、地域の活力が生まれると思う。このような方向で施設を見、多くの市民の日常生活に必要な施設と、日常的利用の少ない施設を区分し、そのあり方を検討して欲しい。（一部抜粋）

公共施設に関する高校生アンケート

市民の公共施設の利用状況を把握するとともに、今後の公共施設のあり方について、市民の意識・意見を把握することを目的に、アンケート調査を行いました。

<アンケートの概要>

項目	内容
調査期間	2019年12月17日(火)～12月27日(金)
調査対象	市内5高校の3年生(対象672人)
調査方法	各高校において調査票の配布・任意回答
回収率	有効回答率95.83%(有効回答数644)
調査項目	・回答者の属性 ・公共施設の利用状況 ・公共施設の今後のあり方 ・公共施設のあり方に関する自由意見
その他	構成比(%)は小数点第2位四捨五入のため合計が100%にならない場合がある。

(1) あなたの性別は？

	件数	構成比
男性	312	48.4%
女性	318	49.4%
無回答	14	2.2%
合計	644	100.0%

(2) あなたの高校は？

高校	件数	構成比
西条	260	40.4%
西条農業	89	13.8%
東予	72	11.2%
丹原	95	14.7%
小松	128	19.9%
合計	644	100.0%

(3) あなたがお住まいの地区は？

地区	件数	構成比
西条	128	19.9%
神拝	52	8.1%
大町	51	7.9%
玉津	22	3.4%
飯岡	20	3.1%
神戸	14	2.2%
橘	8	1.2%
禎瑞	6	0.9%
氷見	29	4.5%
加茂	1	0.2%
大保木	0	0.0%
市之川	0	0.0%
周布	10	1.6%
吉井	14	2.2%
多賀	26	4.0%

旧西条市	331	51.4%
旧東予市	141	21.9%

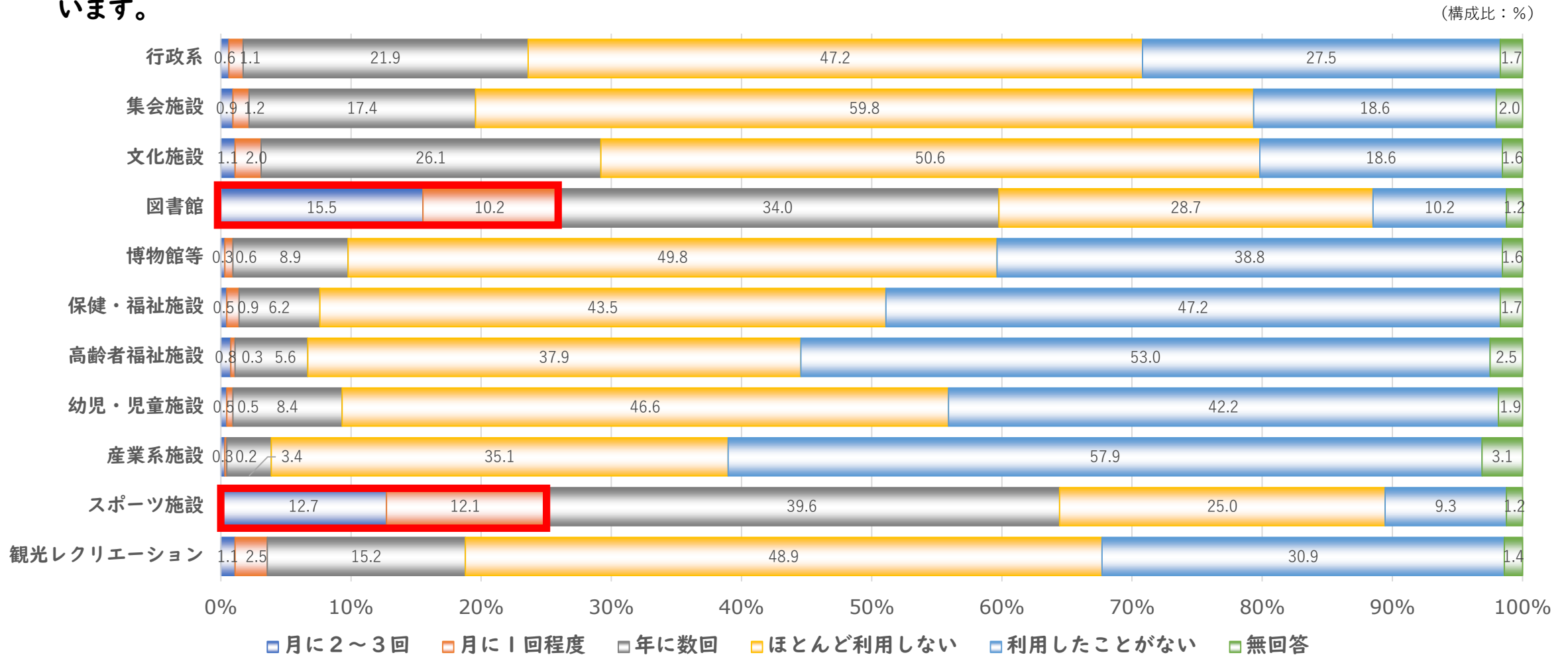
地区	件数	構成比
壬生川	27	4.2%
国安	15	2.3%
吉岡	19	2.9%
三芳	19	2.9%
楠河	5	0.8%
庄内	6	0.9%
丹原	38	5.9%
徳田	5	0.8%
田野	13	2.0%
中川	1	0.2%
桜樹	0	0.0%
小松	42	6.5%
石根	7	1.1%
市外	63	9.8%
無回答	3	0.5%
合計	644	100.0%

旧丹原町	57	8.9%
旧小松町	49	7.6%
市外他	66	10.2%

(4) 公共施設をどれくらいの頻度で利用しますか？

(①週に1～2回、②月に1～2回、③年に数回、④ほとんど利用しない、⑤利用したことがない、から1つ選択)

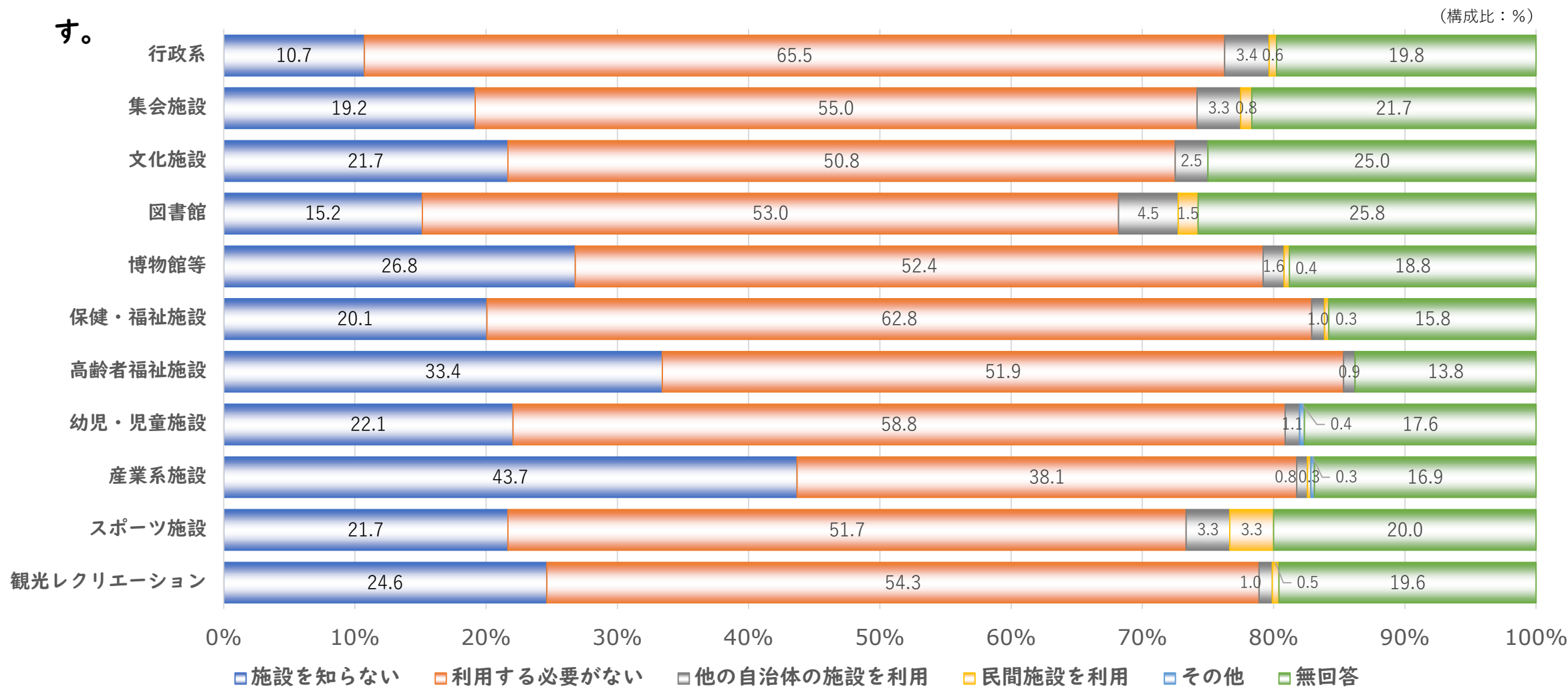
➤ 高校生が利用する公共施設は、図書館とスポーツ施設にほとんどが集中しており、全体の約25%がよく利用(月1回以上)しています。



(4) 先の質問で、公共施設を「利用したことがない」場合、その理由は？

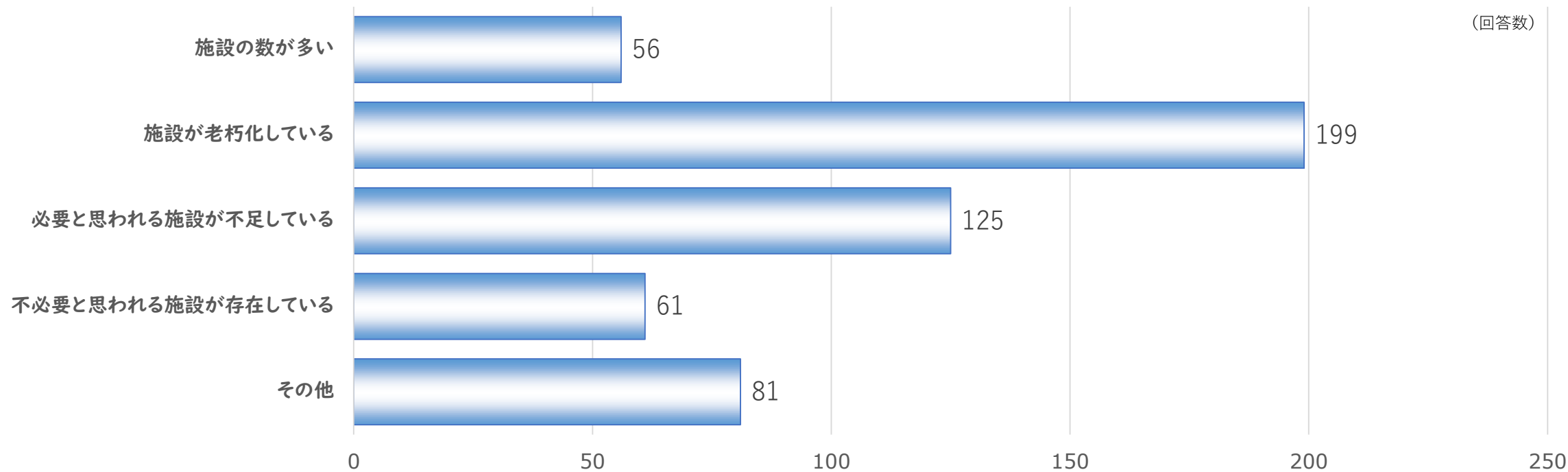
(①施設を知らない、②利用する必要がない、③他の自治体の施設を利用、④民間施設を利用、⑤無回答、から1つ選択)

➤利用したことがない理由は、「利用する必要がない」が多く、産業系施設については「施設を知らない」が一番多くなっています。



(5) 公共施設について、問題だと思うことは？
(①施設の数が多い、②施設が老朽している、③必要な施設が不足している、④不必要な施設が存在している、⑤その他、から1つ選択)

➤「施設が老朽化している」に続き、「必要と思われる施設が不足している」ことが問題視されており、必要な施設としてスポーツ施設や図書館等の学習の場等の意見があります。



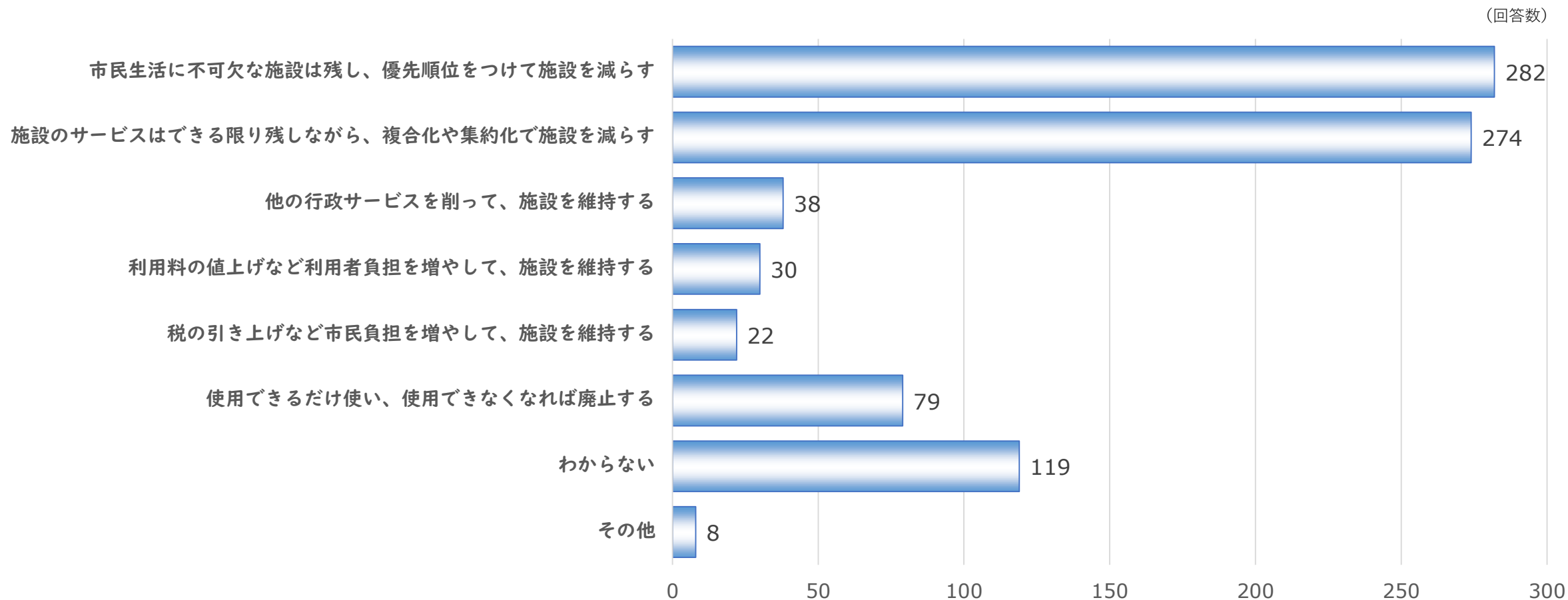
《必要と思われる施設が不足している》

スポーツ施設に関するもの	図書館等学習の場に関するもの	子どもに関するもの
スポーツ施設、スポーツができる施設	学習できる場所	幼稚園、保育園、こども園等
体育館、広い体育館	図書館の学習スペース、アクアホール	児童館
アリーナみたいな大きいたてもの	静かに勉強できるところ、図書館以外で。	子育て支援施設
ピバスポルティアのプール施設	勉強ができるフリー・スペース	ショッピング・センターや子どもが遊べる場所
ジム		
スケボーをする場所		

(6) 建替・改修費の見込み等から、今ある公共施設をすべて維持することは困難と考えられますが、どのように取り組むべきだと考えますか？

(下記の選択肢から複数回答)

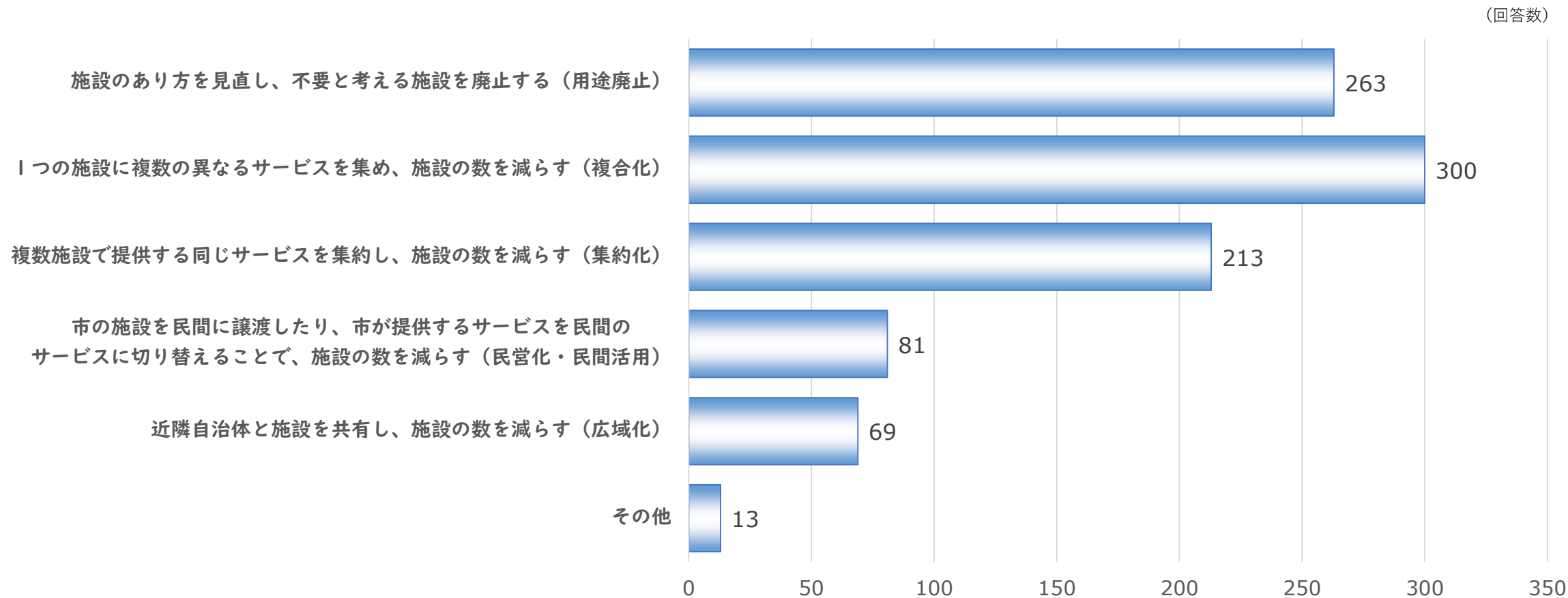
➤ 公共施設の削減に対する考えとして、「優先順位をつけて減らす」、「複合化や集約化で減らす」が多い点は、一般市民アンケートと同じ傾向です。



(7) 公共施設を減らすために、どのような手法で取り組むべきだと思いますか。

(①用途廃止、②複合化、③集約化、④民営化・民間活用、⑤広域化、⑥その他、から選択(複数回答可))

➤ 公共施設の削減手法として、「複合化」が一番多く、次いで「用途廃止」、「集約化」が多くなっており、一般市民アンケートと大きな差異はありません。



(8) 今後の公共施設のあり方について、ご意見がありましたら、ご自由にご記入ください。

<主な意見>

No.	性別	年齢	自由記述
1	男性	高校生	記念館や文化館は今となってはインターネットでいくらでも調べることができるので、必ずしも必要とは言えないと思う。
2	男性	高校生	・市営住宅を民営化し、必要な世帯へは給付という形に変える ・多くある博物館を1カ所に集める→人件費を削減→他の充実を。
3	男性	高校生	西条市では、無料で使用できる所がいいと感じているので継続していただけるととてもありがたい。しかし、公共施設を使う上で感じたのは、周辺に飲食店やコンビニ、スーパーなどがなく、行きづらいのではないかと思います。一般企業などを呼び込むことで、さらに使用しやすい環境になるのではないかと考えました。(例:親が買い物、子供が遊ぶなど)
4	男性	高校生	あまり使用しない施設を月に数回だけサービスを行うようにすると良いと思う。
5	女性	高校生	複合・集約化することで施設数が減り、維持しやすくなると思うけど、西条市は広いので集約しすぎても困る人が出てくると思います。例えば、丹原と東予の総合支所は1つにまとめるなど、市民が困らずに使用できる公共施設になると良いと思います。
6	男性	高校生	勉強できるスペースを作るべき(図書館以外で)。
7	男性	高校生	施設が少なくなってしまうと困る人もいるので少しでも多く残してほしい。
8	男性	高校生	老人ホームのような高齢者にスポットを当てた施設が多く感じるので、若者向けの施設を増やし、それぞれの年代に合う施設を作してほしい。
9	女性	高校生	学生が学習に集中できる施設が増えてほしい。図書館やアクアホールを利用しているが、満席で使用できない時もある。学校以外に学習できる場所が身近に増えれば、学生の学習意欲向上につながると思う。
10	女性	高校生	若い世代が使いやすくて需要のある施設があったらいいと思う。
11	男性	高校生	全員に平等に使える施設でいてほしいと思いました。
12	男性	高校生	地域が盛り上がるようなもの。盛り上がれば少しずつ活性化になる。
13	男性	高校生	公共施設の削減が資金運用の問題であるならば、ただ施設を減らして負担を削減するだけでなく、そもそもの税収を上げるための政策(流入人口増加を目指す、魅力ある町づくりなど)を同時に行ってほしい。消極的な案だけでなく、積極的に前向きな将来性(40年と言わずその先まで)を見据えた、短期の解決策ではなく長期の解決策を考えて欲しい。減らす事を考えるだけでは最終的に得られるものは何もない。減らす余裕があるうちに、分かり切っている未来を変える"何か"を行ってほしい。